

## 磐田市バレーボール協会

加盟チーム数 64チーム  
 加盟人数 760名  
 代表者 佐藤 広海  
 創立年 昭和52年度より～



(協会マーク)



磐田市バレーボール協会  
 (5市町村合併記念マーク)

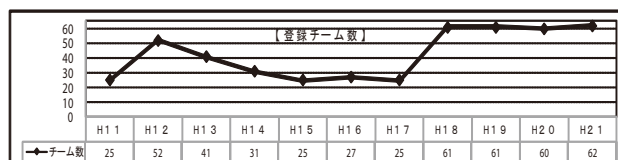
### 【協会の概要】…平成11年度より

磐田市バレーボール協会創設今年で35年目を迎え、磐田市民に年齢関係なく愛好者の親しみやすいように、役員平均80名・チーム登録会員人数約760名で運営され、年齢関係なくバレーボールの発展を目指して役員・チーム一丸となって努力し盛り上げようと、これからも生涯スポーツとして新たな改革を求めながら前進したいと考えております。

#### ◆ 協会とは ◆

『ある目的のために集まった会員が協力して  
 組織、維持して行く団体』

#### — チーム数の変動 —



#### — 役員の返還 —

- ◆ (平成11～12年度) ・会 長 橋本 秀夫  
 ・副会長 渥美 孝三 福澤 富美子  
 ・理事長 宇藤 栄治
- ◆ (平成13年～20年度) ・会 長 宇藤 栄治  
 ・副会長 (平成13年～14年) ・福澤 富美子  
 ・副会長 (平成15年～19年) ・桑原 町子  
 伊藤 滋朗 ・理事長 藤村 博美
- ◆ (平成21年度～) ・会 長 佐藤 広海  
 ・副会長 藤村 博美 ・理事長 吉岡 伊作

#### — 協会組織の返還 —

- ◆ (平成11年～19年) \*会長 副会長 顧問 理事長 体育協会 \*推進協議会 (会長、副会長、理事長、副理事長、各部長、各委員長、事務局長)
- ◆ (平成20年～\*会長 副会長 顧問 理事長 (平成21年～参与) \*理事会 (会長、副会長、理事長、副理事長、理事、各部長、事務局長)

### 【市町村合併】… (平成17年度)

市町村合併が体育協会より緩やかに落とし込みが来る中、バレーボール協会は各地区の活動を確立し理解、考え方を整理する事から進めて行くのが適切と判断し、経験とチームワークで新しい風と共にバ

レーボール協会を市民と力を合わせ築いて来ました。

- ◆ (平成18年度)  
 組織の一部見直し、旧市町村各2名 (正・副) 選出して指導者普及部を設けきめ細かに連携を取り、活力と楽しい協会を目指して行く。
- ◆ (平成19～20年度)  
 5市町村と活動し始めて、新顔ぶれ共心配なく推進が出来ました。組織の変更で旧市町村より理事を選出 (八木 伸一・平田 朗・松島正司・松村あや子・金田一比己・市村 智) して理事会にて一緒に協会の事業をやって来ました。
- ◆ (平成21年度)  
 5年目を迎え各支部代表を取り除き新磐田市より役員を選出し、新しい改革にチャレンジする。

### 【現在の活動状況】

各専門部 (小学部・クラブ部・家庭婦人部・婦人部・シニア部・ソフトバレー部・中高部) により年間事業各部2～6計画に沿って実施している。

第22回 磐田信用金庫理事長杯 (後援) が開催継続出来るのも磐田信用金庫様のご支援の賜です。



(第22回 磐田信用金庫理事長杯 開会式風景)

- ◆シニア部第1回目は70名参加が、H20年は180名と2倍の参加となり、年々多くの仲間が一端去った、男子40歳、女子45歳以上で個人・チーム男女混合の参加大会です。



(第37回 シニアフレンズ大会 開会式・試合風景)

### 【優秀選手の紹介】

バレーボール少年団（磐田豊田V S Cの選手）  
東海新人大会（男子）出場報告（磐田市役所）



(東海大会で健闘を誓う磐田豊田V S Cの選手)

### 【今後の目標】

①総会資料で年間の事業計画を各専門部が企画した大会等を確実にこなして行く。今期は、大幅な役員編成と共に新規一転しての改革を新役員と推進して行く事が磐田市バレーボール協会の発展に繋がると考えている。

②各専門部より、今後の取り組み展望

◆小学部…（部長：市川 良一）

平成21年加盟、9団体・17チームで小学部は、スポーツ少年団で活動している。近年、団員数の減少を食い止め、増加を目指し頑張っていく。

◆クラブ部…（部長：佐野 琢之）

年4回の大会を、[男女9人制・男女混合・高校、一般合同6人制]を実施。一般のバレー人口減少に伴い部員一同増加目指し、喜ぶ活動を考えて行く。

◆家庭婦人部…（部長：中井 きよ子）・固定

10年前は、3部制～2部制に高齢化で世代交代出来ないチームが増え、減少傾向をたどり今後は若い人を呼び込み、チーム存続が現在の課題です。

◆婦人部…（部長：村松 恵子）・ローテ

ローテーションは全てのポジションが体験でき、初心者でも楽しむ事が出来ます。今後は誰でも参加しやすい環境作りが大切だと痛感しています。

◆シニア部…（部長：高野 千恵）

全盛期に活躍した世代が多く参加し、自己の体力の目安と親睦を深め男女混合大会とあって年々増加傾向に有り、定着目指して頑張ります。

◆ソフトバレー部・（部長：佐藤 誠徳）

老若男女で、ボールは大きく柔らかくネットも低いので初心者もすぐ楽しめる競技で、最近の上昇ソフトバレーで、一緒にプレーをしませんか。

③【会長 佐藤 広海 : 今後の展望】

日本の環境が好転する中で専門部の充実を図り、資金不足を体育協会と共に補い進んで来ました。生涯親しく明るく豊かな地域社会作り等意識し、手軽に楽しめるソフトバレー・シニア部を取り入れ、市民参加の健康増進へ体力向上にお互いの交流を深め、市民の中に溶け込めたらと思っている。

